

スカパーJSATグループ 2019年度下半期番組審議会

(スカパーJSAT 第33回、スカパー・エンターテイメント第26回)

開催年月日：2020年3月27日(金)

開催方式：書面開催

新型コロナウイルス感染拡大防止及び番組審議会参加者の安全確保の観点から、集合しての開催をとりやめ
審議会資料を事前送付し審議委員のご意見を頂戴する書面開催の形式で実施した。

出席者

(審議委員)

委員数：7名

出席委員数：7名

審議委員長：高畑 文雄

委員：崔 洋一

委員：二宮 清純

委員：山本 浩二

委員：草野 満代

委員：田中 里沙

委員：安田 洋祐

(スカパーJSATグループ)

高田 真治：スカパーJSAT(株) 代表取締役 執行役員会長

米倉 英一：スカパーJSAT(株) 代表取締役 執行役員社長

小川 正人：スカパーJSAT(株) 取締役 執行役員専務 メディア事業部門長

古屋 金哉：(株)スカパー・エンターテイメント 代表取締役社長

手塚 久：スカパーJSAT(株) 執行役員 メディア事業部門長代行

(事務局)

加藤 健：スカパーJSAT(株) メディア事業部門 メディア事業本部 コンテンツ推進部長

長田 里子：スカパーJSAT(株) メディア事業部門 メディア事業本部 コンテンツ推進部

(報告者)

加藤 大：スカパーJSAT(株) メディア事業部門 メディア事業本部 第1ジャンル事業部

植田 恭輔：スカパーJSAT(株) メディア事業部門 メディア事業本部 第2ジャンル事業部

<番組審議>

審議番組 (1) 『東方神起 15 周年ライブ 企画 【独占生中継】東方神起 LIVE TOUR 2019 ~XV~』

報告者：植田 恭輔

◆放送概要

放送日：2019 年 1 月 19 日

放送チャンネル：BS スカパー！（PPS 方式による有償放送、録画不可）

オンデマンド：スカパー！オンデマンドにてライブ配信（2 週間の見逃し配信付き有償配信）

◆企画概要

15 周年を迎える東方神起の 2020 年 1 月 19 日の京セラドーム大阪公演独占生中継（※「ホーム・ライブ・ビューイング」として訴求）を皮切りに、4 月の東京ドーム追加公演も独占生中継、そのほかドキュメンタリー番組も合わせて 4 月～11 月まで毎月関連番組を編成。

番組はすべて PPS（ペイ・パー・シリーズ）＝視聴チケットとして販売をし、事業収支を追及する。

「ホーム・ライブ・ビューイング(HomeLV)」＝“自宅でライブ・ビューイング”としてプロモーションすることで、新たなエンタメ価値提案を想起させ、HomeLV 事業の継続展開への端緒とする。

◆審議委員からのご意見

①企画全般に関して

- ・映画販売を対象とした以前のペー・パー・ビューをライブ生中継に対して実施したもの。購入件数は計画目標には届かなかったが、人気のあるアーティストであったために、ある程度の成果は得られたのでは。従来の映画販売と比較して、PPS によるホーム・ライブ・ビューイングの提供という筋の良い試みを追求したという点で評価できる。
- ・自宅でライブ・ビューイングを体感し楽しめる内容。ライブ配信ではなく、ライブ「放送」に価値があることを気づかせてくれた。イメージの赤いライトで埋め尽くされた会場、東方神起のファンへの感謝とサービスの気持ち、sam さんはじめスタッフのコメント、エモーショナルな映像を駆使した演出など、コンサート自体も魅力的だったが、放送の可能性を感じた。
- ・別途料金を支払うことで毎月コンテンツを楽しめるという試みは、気軽でありながら特別感があって良い。一括払いだけでなくチョイスすることができるのも良いが、録画不可で 1 回 2,500 円というのはやや値段が高すぎる気がする。

②1 月 19 日のライブ放送内容に関して

- ・15 年の節目企画としては評価できる。つまり、日本における根強いファン、ファミリーに向けた、昨今のライブパフォーマンスを軸としたショービズの典型とも言えるだろう。
- ・初めて韓国の人気デュオ東方神起のライブを観たが、歌唱力、ビジュアルともに素晴らしく、5 万人近い動員力を誇ることが良くわかった。大画面のテレビに買い替えようかと思った。
- ・ショーとしてのクオリティの高さに驚く。カメラワークとスイッチングが完璧すぎて、逆に「生」という感じがしないくらい。
- ・カメラワークも観やすいし、MC もたっぷり収録されているのでファンにとっては嬉しいのでは。
- ・ファンとともにキックオフ的に気持ち新たに新年をスタートするという意味で、魅力的なコンテンツになっている。15 周年イヤーと一緒に進めていくのであれば、番組最後に次の展開に関する予告があったほうがよかったかと思う。
- ・「スカパーを見ている人も！」と呼びかけがあり、一体感を実感できたし、アーティスト側の期待も伺える。

③今後の施策展開に関して

・ホーム・ライブ・ビューイングの今後の展開に関しては、以下の点を検討する必要がある。

- ◇ ライブに参加すること自体を楽しみにしているファンをどのように取り込んでいくのか？
- ◇ セットとしてのオリジナルグッズの限定販売は効果的か。
- ◇ 録画不可は正解と思うが、録画可とする可能性はあるのか。
- ◇ PPS 価格の設定。チケット販売価格に対する比率。
- ◇ 視聴者に対する PPS の十分な説明。

・スマホの視聴の一定の多さをどう見るか。

・PPS の今後は映画業界でも関心事。つまり、将来の劇場展開を軸として映画の存在のあり方の変化を牽引できるのか否か。とても興味がある。

・「お客様の主な声」を読むと、これまでの加入者にとっては負担増のイメージが先行しているようだが、企画そのものは将来性を感じるので、巨大マーケットを持つアーティストの音楽のみならず、クラシック、舞台、伝統芸能（落語なども…）幅広く可能性を探っていただきたい。

➡頂いたご意見を参考に、今後の展開においては、事業収支改善を念頭におきつつ、より多くのファンの皆様に喜んでいただけるよう、顧客ニーズに相当する PPS 価格設定も含めて、サービスの内容とわかりやすい告知を意識して追求してまいります。「ホーム・ライブ・ビューイング」施策については、在宅エンタメのニーズを捉えながら、音楽ライブだけにとどまらず、あらゆるエンタメに広げて可能性を研究してまいります。

審議番組（2）『福岡ソフトバンクホークス 2020 宮崎春季キャンプレポート』

報告者：加藤 大

◆放送概要

放送日時：2020年2月1日（土） 12：00～ 生中継

放送チャンネル：BSスカパー！

解説：仁志 敏久（プロ野球解説者）

実況：加藤 暁（フリーアナウンサー）

リポーター：海里（ホークス 公式中継リポーター）

場所：宮崎市生目の杜運動公園

◆放送コンセプトと実施内容

<番組概要>

3年連続日本一を達成した福岡ソフトバンクホークス。4年連続日本一を目指して、2月1日から宮崎県での春季キャンプがいよいよ始まる！

<中継のこだわりポイント>

- ① 事前に解説者と打ち合わせを行い、練習の意図や意味を解説
- ② カメラの構成（全6台）：少ないカメラで幅広く撮影
- ③ 顔を見せる中継：プレーはもちろん、選手の表情を多く捉える

◆審議委員会からのご意見

①番組に関して（作り手目線）

・頭のアナウンスがダサい。いつまで外野からのロングショットを見せるのか。構成が古臭い。これでは15年前のプロ野球ニュースのキャンプ巡りにもかなわない。少ないカメラと工夫を強調しているが、軸とポイントをつかめていない構成の甘さが露呈しているだけ。一体、何を伝えたいのか。お仕着せの選手インタビューよりは、野手の打撃、投手のブルペンの顔、息づかい。キャッチングのミット音などなどいくらでもスポーツのライブ感を出せるはずだ。

・事前の宮崎入りの取材、監督・選手のインタビュー含め、入念に準備をされた気合の入った番組。

・ある意味、平板なプロ野球キャンプの1日を、視聴者にどうわかりやすく伝えるかに苦労の跡が窺える。解説者にも狙いを説明しており、一味違ったキャンプレポートになっている。ただし、ホークスファン以外が楽しめたかどうかは今後の課題。

・ホークスのキャンプ地は12球団一の立地条件だと思う。1日のスケジュールを解りやすく魅せるのが大事かと。解説者も大事で解りやすかった。

・予算の関係もあろうが、ブルペンの解説も入れるなら、投手出身者と打手出身者のW解説でも良かったのでは。

②番組に関して（視聴者目線）

・春のキャンプを観るということは野球ファンにとって現場に行くことだったが、TVで観ることが出来る様になって喜びは大きい。特にホークスのキャンプは全選手同じ場所で観ることができてうれしいのでは！（お目当ての選手が見られる）

・スポーツニュースだと特定の選手中心に紹介されるが、丁寧にバランス良く選手の人となりや練習風景が見られるの

で、チーム全体の活力や魅力を知ることができる。練習メニューを詳細に把握でき、ファンおよび野球をしている人には特に喜ばれそう。

・キャンプの生の臨場感、選手の素の動作、表情、独特の空気感を存分に楽しむことができた。長時間の番組だがMC解説の活の豊富もありあきることがなかった。カメラもあちこち工夫して多角的に構成されていて、ワイド感が強く印象にのこった。

・視聴者の好奇心に寄せてつくられているのがよかったが、それでも、もっと出来るのではと思う点もあった。野球を知っている人向きだけでなく、知らない人＝未開のファンにとっては、プロ選手の鍛えられた肉体だけでも衝撃的であり、キャンプ故にその「近さ」から見えてくるもの（例えば太ももの太さだけでも驚く）をもっと伝えてほしかった。

・多角的な解説や選手の表情など、ファンにとっては興味深い内容になっているのでは。ただ、野球ファン以外にとっては「ダラダラと長い番組」という印象も否めず。選手データをゲーム画面のように出す、過去の試合映像を交えるなどの演出があると良いかもしれない。

・休日の午後に視聴をしたので、キャンプ現地に行って見ているような雰囲気を楽しむことができた。時々ニュースが入ってくる緊張感とゆるい時間の流れが平行にあって、大きな盛り上がりがないのに楽しいというのが発見だった。

・地上波におけるプロ野中継が少なくなった近年において、スカパーがプロ野球中継を、できれば全試合放映することは、野球ファンにとって大変有難いことであると思われる。

➡今シーズンは放送初年度ということもあり、昨年までのフォーマットを踏襲致しました。

この度頂いたご意見を参考に、球団と調整の上、バッティングゲージに固定カメラやブルペンに集音マイクなどを設置し、ファンの皆様の“期待”に応えられるような番組制作に努めてまいります。

<諮問事項>

議題：『成人番組契約年齢を18歳とする取り組み』について

◆諮問内容

日本で成人番組の放送を行っている全ての放送事業者からなる成人番組倫理委員会（略称成倫）からの依頼に基づき、成人番組契約年齢を18歳とすることについて社会情勢や関係機関の指針・意向等を確認した結果、これを阻む規制等はなく、既に適正な年齢確認のもとに「R18」で運用されていることから、スカパー・プレミアムサービスにおいても現在の運用条件である「視聴年齢証明書類提出」「ペアレンタルロック」を変更しないことを前提に、成人番組倫理委員会の依頼を受諾し2020年4月21日より「R20」から「R18」に変更したい。

◆審議委員からのご意見

- ・民法改正で成人年齢自体も18歳に引き下げられたので、「R18」への変更は適切と考えます。視聴年齢証明書類提出、ペアレンタルロックを運用の上という点も、良いと思う。
- ・世の中の流れであり、問題はないと思われる。
- ・いろいろと意見はあるだろうが「R20」から「R18」への変更は時代の流れだろう。ただし変更に伴う消費者トラブルのリスクはゼロではないため、変更に伴う説明は丁寧に行う必要があるだろう。
- ・若い時の性への興味は誰もがもっているのでは。18歳から公に契約できるのは良いことだと思う。
- ・すでに一般的に「R18」で運用されていることが多いと思うので妥当ではないか。一方で、年齢制限に関わらず倫理的な観点や多様性への配慮など、今の価値観に基づいた厳格な内容精査が一層求められていると感じる。
- ・提案に賛成する。ただし、表現の自由と、放送法、電波法との闘ぎ合いは常にあると覚悟して、時に大胆な提案を忘れずに、そして、規制、批判への対処の保持を「備えを常に」として欲しい。風見鶏だけでは、視聴者はついてきません。
- ・変更の件、承知した。意見の分かれるテーマでもあり、反対の方々に向けても丁寧、十分な説明を求めたい。

➡頂いたご意見を参考に、丁寧な説明と適切な運用ルールのもとで「R20」から「R18」への変更を実施させていただきます。

➡新型コロナウイルス拡大防止のための縮退運用に伴い、変更時期を4月21日から6月16日に延期いたしました。

<報告事項>

(株)スカパー・エンターテイメントの番組審議と今後の展開について

報告者：古屋 金哉

(株)スカパー・エンターテイメントでは、基幹放送事業者としてまた一般放送事業者として計 165 チャンネルの運営をしており、毎月考査委員会を開催し、番組内容のチェックを行っております。

2018 年 12 月に開局した新 4K については、契約件数ではまだこれからの部分もございますが、去年はラグビーワールドカップ全試合を 4K ピュア画質で放送いたしました。

その後も人気時代劇「鬼平犯科帳」全 9 シリーズ 138 話を 4K デジタルリマスター版で、また昨シーズンに引き続き今シーズンも F1 全戦を 4K 生中継し、幅広いジャンルでお客様に 4K の魅力を伝えてまいります。

※現在、新型コロナウイルスの影響で今シーズンの F1 については一部中止・延期となっております。

以上